



嚶鳴同窓会報

編集発行所
990 山形市鉄砲町1
丁目15-64
山形県立山形西高校
嚶鳴同窓会
電話 41-3504
振替山形 7481

記念の年を迎えて

会長 高橋 政

「昭和五十三年には、母校創立八十周年を迎える」と、折ある毎に皆様に申し上げ、その記念事業についても、広く御協力をお願いして参りました。

いよいよその年にめぐり合ひまして、心の高まりを覚えるこの頃でございます。

おかげ様で、記念事業の方は(新校舎の塔屋に校章のリリーフをかかげる事と、嚶鳴会館の増築学校の新築工事と共に、もうすでに完成し、喜ばれ活用されております。本間に有難うございました。心から重ねて感謝申し上げます。

来る六月二十五日創立記念の日には、式典と祝賀の催しが新装ととのつた母校に於て行われる予定でございますが、引き続きこの度は同窓会も一時頃から総会を開かせて頂く事に致しました。

何卒皆様お誘い合わせ御出席下さいまして、八十年の歴史と伝

統をたえ今後の限りのない発展を願つて共に祝杯をおあげ下さいませ。すようお願ひ申し上げます。

女子教育のさきがけとして発足し、時代の変遷や、学制改革を経り、現在の西高に至つてるのでございませう。この間の数々の記録やなつかしい思い出は、記念誌として学校の方で御編集頂いておられますので楽しみに致して下さる所でございます。

古い卒業生のお話によりますと開校の始めの頃は、和服に帯を結びその上にエビチャの袴をつけて通学する姿は、昔の才媛で有名な「紫式部」をまねて「エビチャ式部」ともてはやされたそうで、隔世の感が致しますが、八十年の歳月の歩みが偲ばれます。時の流れに添い折々の色をうつつし織りなして行く同窓会こそ、いつになつても貴重な存在なのでございませう。

校長は幾度か変更りまして嚶鳴の名によつて結ばれました同窓会でございます。昨年夏母校音楽部が選ばれ、ウイーン音楽祭に参加しました折にも新田多木の会員の方から暖かい御後援を頂く事が出来まして、これ又、誠に有難うございました。

近年の母校の躍進は、素晴らしく各方面に輝かしい成績をお取めなつておられます。この記念の年を迎えるに当りましての大きな喜



新装なった山形西高等学校

びでございます。又、同窓会の方も、例年総会の当番にあつたて下さいませ。方達の活気あるお働きは本当にたのしみく新しい息吹きを、うれしく力強く感じております。

私共は七十周年のあとを受けまして、思いもかけぬ大役をお引受け致しましたのでございませう。皆々様のお援けによりまして大過なく八十周年を迎えようとしております。誠に有難うございませう。どうぞこれを契機に、新しい組織をもつて、次の歩みをより充実したものとす。前進出来ませうよろしくお願ひ申し上げます。



校長 笠原 二郎

嚶鳴同窓会の皆様にはますますお元氣にお過ごしのこととおよろこび申し上げます。母校のことにつきましては日頃あなたたかご配慮と力強いおはげを頂いております。お礼深謝申し上げます。

お礼深謝申し上げます。お礼深謝申し上げます。お礼深謝申し上げます。お礼深謝申し上げます。お礼深謝申し上げます。

ことなり色々な点において特別の配慮が必要となりますので、音楽部員のご父兄の皆様へのお考えをお聞きし参加の態度を決めた次第であります。このウイーン行につきましても同窓生の皆々様から格別のご支援とお礼を頂戴致しまして厚くお礼を申し上げます。お陰様で附添五名をふくめて七十名の派遣団が七月七日出発し、終始なりやまない拍手と大好評の中で堂々と演奏するとともに、国際親善の上でも大きな役割をたし、全員元気で、二十一日帰郷いたしました。同窓生の皆様のご期待にもそぐ得たと心からよろこんでおるところであります。同窓生の皆様ありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

昭和五十三年の総会当番学年は、昭和十五・十六・十七年卒業の方々です。例年のようにそれぞれのクラス幹事は前年から準備にたりかかり、早くも昭和五十一年十二月に第一回目の準備会を持ちました。そして一番焦点になる、催し物の出演者として、昨年から約東である母校音楽担当の阿部昌司先生と、同じく美声の持主で今年度から事務局に入られた阿部秀而先生の独唱(二重唱)加えて嚶鳴女声合唱団の合唱を聞くという事にして交渉を始める事に決めました。又、本年度山形県3P賞をうけられた会員勝島雄子さん(小児科医長)にお祝いの記念品をさしあげる事なども決めました。その後には総会当日まで十二・三回の相談会を持ち、次のような事を相談実行に移して参りました。喜寿の方のご招待、恩師・来賓へのご招待、出演者との交渉、弁当交渉(当番学年のメンバーに料理店、囃月の娘である庄司アサさんが居られるのでお力添えによって、僅か七〇〇円で弁当を出して下さることにした)ポスター制作(図案を大場としさん(S十七二部卒)にお願ひしました。西高音楽部がウイーン音楽祭に参加した事により示される嚶鳴同窓会を象徴する図案、切符券、プログラム作成、その他さまざまな雑務など。最後の十月一日の午後には当番学年の方々百名位会場に集まり、会場準備、受付、案内、接待、弁当渡り等の仕事分担を確認し、又会員の昼食時湯茶接待のポットを約四十ヶ程用意しました。準備段階で特別に残念に思われた事は、喜寿のご招待に對して、家族や知人から逝去なさつてお返事をなくさんいただいた事でした。又、ご存命で出席出来る方も出席出来ない方もご返事の中に、卒業以来六十年になつて、まだ忘れ去れないで招待をうけたうれしさの手紙にふさわしい事でした。大変いい行事だと思われてきました。



永年勤続おめでとう



昭和五十三年の総会当番学年は、昭和十五・十六・十七年卒業の方々です。例年のようにそれぞれのクラス幹事は前年から準備にたりかかり、早くも昭和五十一年十二月に第一回目の準備会を持ちました。そして一番焦点になる、催し物の出演者として、昨年から約東である母校音楽担当の阿部昌司先生と、同じく美声の持主で今年度から事務局に入られた阿部秀而先生の独唱(二重唱)加えて嚶鳴女声合唱団の合唱を聞くという事にして交渉を始める事に決めました。又、本年度山形県3P賞をうけられた会員勝島雄子さん(小児科医長)にお祝いの記念品をさしあげる事なども決めました。その後には総会当日まで十二・三回の相談会を持ち、次のような事を相談実行に移して参りました。喜寿の方のご招待、恩師・来賓へのご招待、出演者との交渉、弁当交渉(当番学年のメンバーに料理店、囃月の娘である庄司アサさんが居られるのでお力添えによって、僅か七〇〇円で弁当を出して下さることにした)ポスター制作(図案を大場としさん(S十七二部卒)にお願ひしました。西高音楽部がウイーン音楽祭に参加した事により示される嚶鳴同窓会を象徴する図案、切符券、プログラム作成、その他さまざまな雑務など。最後の十月一日の午後には当番学年の方々百名位会場に集まり、会場準備、受付、案内、接待、弁当渡り等の仕事分担を確認し、又会員の昼食時湯茶接待のポットを約四十ヶ程用意しました。準備段階で特別に残念に思われた事は、喜寿のご招待に對して、家族や知人から逝去なさつてお返事をなくさんいただいた事でした。又、ご存命で出席出来る方も出席出来ない方もご返事の中に、卒業以来六十年になつて、まだ忘れ去れないで招待をうけたうれしさの手紙にふさわしい事でした。大変いい行事だと思われてきました。

つと聞きはれました。次は阿部昌司先生と、阿部秀而先生の迫力あるバリトン独唱、二重唱に魅了され、鳴り止まぬ拍手にこたえて阿部昌司先生は、小学生の頃それを歌つて先生にほめられ音楽の世界に入られるキッカケにもなつたと言われるかつての名曲、愛染かつの主題歌でアンコールにこたえて下さりました。そして全員に、四季の歌、の歌唱指導、最後に新旧校歌を全員合唱でしめくりました。実に老若和氣蓮々のうちに過ぎた午後のひとときでした。永沼基さん(S十五高女卒)の閉会のことばで全部終了した後、全員感動の余韻にひたりながら会場を後にしました。一年一度の同窓会総会をいともこうして楽しい集いにしたいものだと思ひ、尚總會の間中、武田つや子さん(S十七高女卒)がご好意により数多くのスナップを写して下さり、更にそれらを、写つて居られる皆さんにお送り下さいました。

皆様のご協力を本当に有難い事だと感謝いたします。それから喜寿の祝にご出席の方より感謝の御札状が十二通程送られて来ています。その一つをご紹介します。總會報告をしたかと思ひます。過日は同窓会総会並びに喜寿の祝賀会にお招きをいただき、大変なおもてなしに預かりました。本当に有難うございませう。このお祝ひの品まで頂戴いたしました。なんにも鄭重にお祝ひをして下さる同窓会が他にもあるからと、友と語り、とても誇り高く存じて居ります。又、記念のスナップもお送り頂き有難うございました。ご好意をいつまでもいつまでも忘れぬ思い出として、又あの緑一入映える千歳山を眺めては若き日の思い出を新たに、余生も大切に生きるべく存じて居ります。皆様にもよろしくお伝え下さいませ。(当番学年 大宮記 事務局理事)

母校のようす

職員動向

秋葉光市先生(事務長) 御退職
宮地信先生(英語) 御退職
荒木務先生(書道) 上山高校教頭
吉田悟先生(社会) 谷地高校
小原正隆先生(社会) 教育庁
鈴木宏毅先生(数学) 福岡高校
石川京子先生(実) 御退職

金子裕雄先生(事務長) 中央児童相談所総務課長
小林秀夫先生(英) 山形工業高校
井上義夫先生(社会) 上山農業高
富樫匡子先生(数学) 天童高校
志田やす子先生(保健) 宮内高校
野口圭子先生(実) 新採
宝崎幸雄先生(書道) 新庄北高

部活動



モーツァルトの像の前で

ウィーン音楽祭に参加して
子ども山形西高合唱団がオーストリアのウィーンで開かれた国際青少年音楽祭に参加するにつれ、同窓会員の皆様から物心両面にわたって多大の御支援をいただきました。まことに有難うございました。

七月七日から二十一日まで、約二週間のヨーロッパ旅行でありましたが、お蔭さまで生徒諸君に何らの事故もなく、無事使命を果たして帰国できました。何を何よりも嬉しく思います。なにぶんにも、私自身はじめての海外旅行であり、ウィーン派遣の団長を命じられたときは、責任の重さに身の縮む思いでした。幸いにも、先生方並びに同行の方々の周到緻密な計画と指導力に支えられ、また生徒諸君の良識ある行動とたゆまぬ努力に

よって、見事な成果をあげることができ、音楽祭参加諸国の中でも特に高い評価を与えられたことは望外の喜びであります。

ウィーン空港に着きますと、音楽部の先輩である加賀山和香さんの出迎えを受けたためウィーン滞在中であられるというので、言葉の不自由な私どもにとっては心強い限りでありました。加賀山さんには音楽祭期間中はもとよりパリにつくまで御世話になりました。

はじめて見るウィーンの街は、整然とした石造建築が立ち並び、がっしりと落ちついていて、歴史と伝統の重みを感じさせられました。リハールや演奏会を訪れたソフィエール・市庁舎・コツェルトハウスなど、その壮大豪華さには目を見張りました。さすがに音楽の殿堂たるにふさわしい品位と荘重さを目的のあたりに思いました。また、本校合唱団の単独演奏があったベートーヴェン教会やヴァルフルト教会などは、しつとりとした緑の樹林に包まれ、教会に集まる人々の安息の場としての雰囲気をもっていました。生徒諸君の歌ったミサ曲が、ひととき高く澄み渡って響いて、深い感動を受けました。演奏会場でも、教会でも、ウィーン市民の集まる場所には、到るところ音楽があり、音楽が生きているという感じがしました。

次に、本校にとって大きな名誉であったことは、オーストリア首都ウィーンの招待を受けたことでした。花笠踊りの和服姿で参上した私どもを、首相は気さくにあたいたく迎えて下さいました。そして自ら官邸内を案内され、一人一人握手をなさるなど、私どもの感激はひととおありでした。ここでは、「荒城の月」「越天楽」「花笠音頭」を披露しましたところ、首相はニコニコと笑顔で拍手を送っておられました。

ウィーンは森の都でもあり、ドナウ河を巧みにとり入れた水路と湖沼、そして樹木におおわれた公園の紙屑ひとつ落ちてない清潔さなど、自然を大切に国民性のある国であると思えます。老若男女が思い思いにベンチに腰かけて、語り合っている姿は、我が国では見られない風景でした。生活の中にゆとりと静けさを受取る、この国の人達の



Rathaus (市庁舎前)の開会式

ウィーンの影響

ゆかしさがうかがわれます。街ゆく人々の親切でゆつくりとした足取りも好ましいものでした。
バツハ以来の音楽の都を訪れた生徒諸君にとっては、おそらく言葉では表現できない貴重な体験をしたことと思います。それを心の糧として今後の生活の上で美しい実の結ぶことを期待しております。

私たちの初演はベートーヴェン教会でのミサでした。日曜日の夕方、鐘の音と共に人々が集まってくる。神父様が姿を現わしパイオルガンのような気持ちで歌いました。自分の歌う声、また心の中に響いてきて聞かせるようでした。そして音の美しさだけでなく、阿部先生がいまおっしゃる心をこめ、この歌の意味を実感しました。歌い終わると、教会では起こるはずのない拍手が起こったのです。ウィーンの人たちのやさしさでした。

末広町校舎の現況
末広町にある旧山形ろう学校校舎を本校へ移管してもらうため、嚶鳴後援会、同窓会、PTAから陳情書を出したのが四十八年十一月、教育庁の理解と本校関係者の熱意が実を結び、本年二月一日管理替えがされ山形西高の校舎となった。西高へ移管するに当たって教育庁では、同校地の体育施設を整備のうえ市内高校及び地域住民に開放する構想を持ち、本年七月開放校に指定のうえ、工費一五〇〇万円を投じてテニスコート四面(うち一面はオールウェザーコート)で県内公共施設では最初、硬式でもでき雨後も使用可能)を設置、十一月から開放。体育館はバレー及びバスケット用として一月から開放の

テニス部
諸先輩達の残した伝統を受けついで、今年度は念願の県新人大会入賞を果たすことが出来た。
従来のコート二面と末広町敷地(旧聖学校跡)に十一月完成した四面のコート(社会体育共有)の恵まれた環境で、チームワークと技の向上の練習に励んでいる。

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

“進路状況について”

Table with 4 columns: 進路, 学年, 1年, 2年, 3年. Rows for 進, 就, 家庭・その他, 計.

Table with 4 columns: 進路, 卒業年月, 50年, 51年, 52年. Rows for 進, 就, 家庭・その他, 計.

Table with 7 columns: 卒業年, 校種, 国立一期, 国立二期, 公立大, 私立大, 国立短大, 各種学校. Rows for 50年, 51年, 52年.

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

地区春季選手権大会優勝
地区春季選手権大会第二位
地区春季選手権大会第三位
地区春季選手権大会第四位

放送教育研究会全国大会
会場校となる
十月二十日、二十一日の二日間にわたって、山形市上市市で放送教育研究会全国大会が開催された。二十日第一日目は幼、小、中、高、各種別別二十三会場で開催され、各部会長の会合として、全職員、生徒の協力を得て、その責を果たした。

本校会場は、公開授業六教科のうち、古典、森谷正一、地理、阿部秀而、生物、前川和男、音楽、阿部昌司の各先生による四教科を担当し、国語、音楽、美術の三部会研究会に全国から百五十人の参加者を迎える熱心な研究会を持った。

放送教育研究会全国大会は、NHKの学校放送番組を利用し、教科書中心だけの教育にとどまらない「豊かな人間の育成」という目標を掲げて実践研究を明らかにしてきてきた。今回は二十八回にあたり、特に「科学技術の進展」「情報化社会の進展」という現代社会の特性が学校教育にますます大きな影響を与えるようになってきた。昨今は激動する社会の変化に対応するため、生涯教育観に基づき、「未来に生かされる創造的な人間の育成」を放送教育によって目指そうとする傾向になってきている。

山形大会もそれらの流れを踏まえ、「広い視野にたつ意欲的な人間を育てるために、放送の特性を生かした豊かな確かな学習をすすめるよう」という主題を立て、約二年各校とも実践研究を進め、当日の発表に至った。本校では、幼、小、中の基礎に立つ発展的な課題として、「生徒一人一人の創造性を高める」豊かで確かな放送教育の学習の探究に取り組んできた。

五一年一月に各教科代表、実践者による放送教育研究会を発足させ、研究実践の結果、テレビ時代といわれ断片的な興味本位の情報過多による豊かな学習経験に、放送、重要な情報の選択と組織化や、活発で自主的な学習活動から自分の頭で自分の納得のできる結論が得るまで考え抜く確かな学習能力、知識を育てる芽が各教科とも出るようになった。
当日の研究会の感想は、山形西高の公開授業、生徒の能力は素晴らしいというところで、高い評価を受けた。
国語 森谷



末広校地のテニス風景



気合のこもるバスケット部の練習

会務報告

昭和51年10月24日-51年度同窓会総会

11月10日-会報2号発行

11月19日-評議員会(会報2号は80周年記念事業後工の様子)

会長の御礼、挨拶のついでに、

の寄付者全員の御礼、〇〇〇名に

送付する仕事をいたしました。

11月20日-会長 四国高松市

(西高音楽部全国大会出場激励)

12月8日-総会当番引継会

12月17日-本年度総会当番幹

事打合せ(昭和15、16、17年卒)

12月21日-会長ご主人故高橋

類治先生葬儀参列(評議員有志・

事務局理事)

昭和52年1月8日-昭和46卒、

清水依子氏ピアノリサイタル後援

2月4日-高橋会長、香奠返

し5万円他御寄贈

3月7日-同窓会入会式

4月22日-評議員会(母校音

楽部ウィーンの国際青少年音楽祭

参加の支援金募活動決議、ウイ

ーン派遣委員会結成

5月4日-評議員会、クラス

幹事会、ウィーン音楽祭参加支援

金募金の具体策決議、協力お願い

5月22日-東京同窓会支部総

会(茗溪会館)で故渡辺隣先生、笠

原校長先生、高橋会長、大宮理事

長、来賓として出席

10月14日「会報」(3号)編集委員会

会費納入状況

Table with columns for year (昭和52年度), amount, and member name. Includes members like 安部、津、倉谷、喜久 etc.

ウィーン音楽祭出場支援協力金募金報告

Table listing venues and other speakers for the Vienna Music Festival. Includes 寺王ル校、山蔵、山形新聞ホー etc.

Table listing donors and amounts for the Vienna Music Festival. Includes 女師関係、高女関係、南高・西高関係 etc.

Summary table for the Vienna Music Festival fund-raising report, including total amounts and donor counts.

事務局だより: 本年度の評議員会、総会で承認された会則改正により、事務局のメンバーに賛助会員である現職員二名が加わりました。...

昭和51年度決算

Financial table for the 51st anniversary year, showing income and expenses.

昭和52年度予算

Financial table for the 52nd anniversary year, showing budgeted income and expenses.

編集後記

又々、出しゃばりとは思いつつ、編集メンバーの末席に加わらせていただきました。...

渡辺てる記: 先生方からのものが多いようですが、そろそろ、会員の皆様の言葉も少しずつ載せられるよう在学习中の思い出とか母校に一言とかのスベースもほしいような気がします。